

国宝 島津家文書の世界 ～朝鮮出兵の虎狩から篤姫まで～

九州国立博物館では、展示の魅力をさらに感じていただくため対談や講演等のミュージアム講座を実施しています。

今年度は月一回の月例講演会として、文化交流展示室の紹介を行う講座を行っています。今回は、文化交流展示室Vテーマに関連して、国宝島津家文書について紹介します。

2008年3月16日(日) 14時～15時半
九州国立博物館 1階ミュージアムホール

- 講師：東 昇（当館文化財課研究員）
- 入場無料、申し込み不要（定員300名、先着順）

現在、東京大学史料編纂所の25万点もの膨大な史料を九博で預かり、その一部を文化交流展示室で紹介しています。さらには、この夏、特別展を開催する予定です。なかでも国宝島津家文書1万5千点は薩摩島津家の歴史を知る上で大変貴重です。この中から、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に朝鮮半島各地で行われた虎狩、そして今ドラマで話題の天璋院篤姫と幕末の薩摩に関する資料を、特別展に先行してご紹介します。

「薩摩藩虎退治絵巻」九州国立博物館蔵

